

光れ! そえひの子

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に小学校6年生を対象として、全国一斉の「全国学力・学習状況調査」が行われました。すでに上田市内の学校について結果がまとまり、公表されました。

この調査は、子どもの学力(国語・算数の学力)と学習状況(生活習慣・学習習慣)について行われるもので、子どもの学力・学習状況の把握と分析を通して見えてくる成果と課題を、今後の学習や指導の改善に活かすために実施されています。以下、本校の6年生の結果と分析をお知らせします。

また、他の学年でも同じ傾向が見られますので、今年度の傾向と今後の学校での指導方針についても併せてお知らせいたします。

《学力》

【国語】 教科の平均正答率は、県平均・全国平均をともに上回りました。

学習指導要領の領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4つの領域等において、県平均・全国平均をともに上回りました。また、「国語への関心・意欲・態度」も、県平均・全国平均を上回っています。

今年度の重点目標「自分の“ことば”で伝え合おう」をもとに、自分の考えや思いを互いに伝え、さらに深める学習を展開してきました。今後も、こうした学習を継続していく方針です。

【算数】 教科の平均正答率は、県平均・全国平均をともに上回りました。

学習指導要領の領域別に見ると、「数と計算」「量と測定」「数量関係」については、県平均・全国平均を上回りました。

「図形」については県平均・全国平均を下回りました。図形を組み合わせる他の図形をつくる問題が平均より低い正解率でした。その他の問題についてはおおむね、平均より高い正答率でした。

国語と同様に、友達と考えを伝え合いながら深める授業を展開しています。合わせて、基本的な知識や表現処理の習得のため、家庭学習を定期的に出してドリル学習を続けることと、自主学習を継続しています。自ら学ぶ姿勢を引きだしながら指導を続ける方針です。

<学習状況や生活に関わる質問と回答>

1 児童の回答の傾向

○【問い】「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

どちらも、同じくらいの時間で生活していることが伺えます。生活リズムが安定している子どもが多いことが伺えます。

○【問い】「朝食を毎日食べていますか」

「している」「どちらかといえば、している」と全員が回答しています。朝食を食べる習慣がほぼ身についていると考えられます。

○【問い】「自分にはよいところがありますか」

「どちらかといえば、当てはまらない」と考えている子どもの方が多いという結果が出ています。学校生活では、学習・生活・児童会など、学校のリーダーとして多くの場面で活躍していますので、自分のよさを知ることが必要と思われます。

○【問い】「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む）」

「1時間以上、2時間より少ない」という回答がもっとも多く、県平均・全国平均を上回っていました。ついで、「30分以上」という回答で、これ以外の回答はありませんでした。30分～2時間の間で、家庭学習に取り組んでいることが伺えます。

○【問い】「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

「当てはまる」という回答が、全国平均・県平均を上回っています。昨年度も同様の回答傾向が見られました。傍陽小学校の特長と考えられます。

○【問い】「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

「そう思う」という回答は県平均・全国平均を大きく下回り、「どちらかといえば、そう思う」という回答が大きく上回り、「どちらかといえば、そう思わない」という回答は下回りました。多くの子どもが、考えを深めたり広げたりする経験があったと認識していることが伺えます。。

○【問い】読書について

・「学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問に、多くの子どもが「10分以内」「まったくしない」と回答しています。

・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」という質問に、「週に1～3回」という回答がもっとも多く、「ほとんど、または、全く行かない」と答えた子どもはいませんでした。

・「読書は好きですか」という質問に、多くの子どもが「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。

以上のことから、本に興味を持ち自分から読もうとしている子どもが多くいること、読書をする場所は学校が主であること、自分から図書館に行く子どもが多いことが伺えます。

以上が、調査結果の概要です。本校では、重点目標に沿って多くの教育活動を展開する他、6年生以外の学年でもテスト（NRT）を実施し、誤答を分析、授業改善に活かす研究を行いました。

また、児童の実態を掴み、児童にあった手立てで授業を進める「授業のユニバーサルデザイン化」に取り組んでいます。視覚化すること、指示は短くすること、教室環境を学習に集中できるよう改善すること、などに取り組んできました。成果と課題を明らかにしながら、さらに改善を積み重ねて参ります。今後とも、ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。